

2024 年 4 月から 2025 年 4 月までに当院の呼吸器内科に 入院し、高流量鼻カニューラ酸素療法を受けた患者さんお よびそのご家族の方へ

「一般病棟での高流量鼻カニューラ酸素療法離脱の検討」についてのご協力をお願い

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

高流量鼻カニューラ酸素療法（High flow nasal cannula；以下 HFNC）は重篤な呼吸不全時に使用される酸素療法の一つです。両側の鼻腔から高濃度の酸素を高流量で供給し呼吸をサポートする機器であり、多くの医療機関で導入されています。

しかしながら、HFNC を中止する明確な指標がないため、病状が改善した後も長期間使用してしまう場合もあります。酸素供給用のチューブの長さが限られるため、HFNC 装着中は患者さんの行動範囲が制限され、リハビリテーションが進みにくいなどのデメリットもあります。

本研究では、電子カルテの診療情報をもとに HFNC を中止する適切な基準を検討することを目的としています。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

本研究により、HFNC を中止する適切なタイミングを明らかにして、不要な使用を避けることが期待されます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2024 年 4 月 1 日～2025 年 4 月 30 日の間に姫路赤十字病院呼吸器内科に入院し、一般病床にて HFNC による酸素投与を受けた方を研究対象とします。

2) 研究期間

当院倫理委員会承認後から 2027 年 3 月 31 日までです。

3) 研究方法

2024 年 4 月 1 日～2025 年 4 月 30 日の間に姫路赤十字病院呼吸器内科に入院され、一般病床で HFNC を受けられた方の診療情報をもとに検討を行います。

4) 使用する情報

本研究では、以下の診療情報を電子カルテから抽出し匿名化します。個人が特定できる

情報（氏名、生年月日など）は削除し、プライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、家族歴、既往歴
- ・ 診察所見、診療内容、画像データ、血液検査、呼吸機能検査など

5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、姫路赤十字病院の医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、ホームページに掲載してお知らせします。

7) 研究計画書および個人情報の開示

この研究の内容について質問等がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。また、あなたのカルテの情報が使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、お申し出ください。その場合でも、診療において不利益を生じることはありませんのでご安心ください。なお、研究の進捗状況によっては、途中でデータを削除することが難しい場合もありますのでご理解いただきますようお願いいたします。その他、ご不明な点などがございましたら下記までご連絡ください。

<問い合わせ・連絡先>

姫路赤十字病院 内科 第二呼吸器内科部長

氏名：真下周子

電話：079-294-2251 ファックス：079-296-4050

<研究組織>

研究機関名 姫路赤十字病院

研究責任者 内科 真下周子